

琵琶湖の小さな生き物を観察する会



・活動内容は琵琶湖などに住んでいる小さな水中の生き物を採集して顕微鏡で観察することです。月に1回メンバーで集まって活動を行っています。

・観察対象は“水の中の小さな生き物”であれば何でもOK。ミジンコ、ワムシ、ミミズ、プラナリア、貝、カイメン、藻類、原生動物、水生昆虫など・・・いろいろな生き物を採集・観察しています。

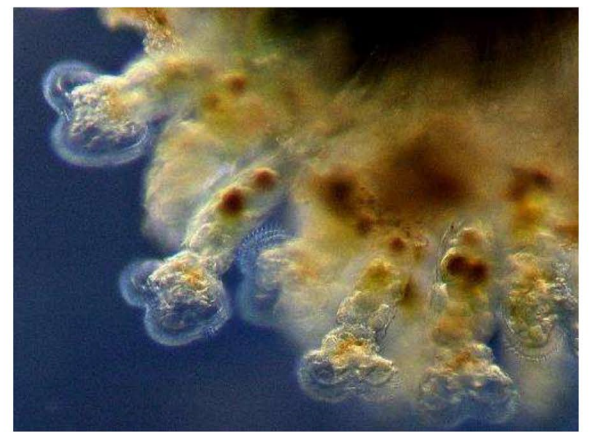
活動紹介



普段は琵琶湖博物館前の生き物を採集しています。プランクトンネットでプランクトンを採集したり、たも網で底に生息している生き物などを採集しています。肉眼では見えない生き物が多いので何が採集できたかは博物館に戻ってからの楽しみです。



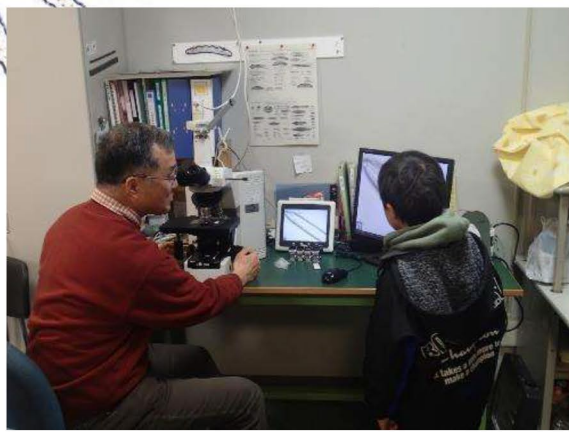
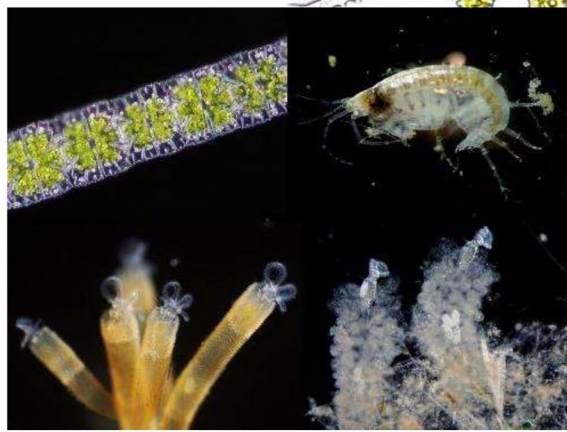
採集した生き物は博物館内の顕微鏡で観察しています。会の活動で採集した生き物以外にも各々興味のある生き物を観察することもできます。



時々、県内の近場に採集に出かけることもあります。博物館前では見ることのできない生き物と出会うことができます。



学芸員の方やメンバーの詳しい方に採集方法からプランクトンのこと等、いろいろ教えてもらうことができます。



いっしょに活動していただける方を大募集中です。顕微鏡を触ったことが無い方でも大丈夫です。もし興味を持って頂けたなら是非ご連絡ください。